

すべては住民の安心・安全のために！住民良し、企業良し、行政良し！

# 三方良しの公共事業改革推進 カンファレンス

～国難を乗り越え、国民の安心・安全を守る三方良し～

開催日：平成24年2月28日(火) 13:30～17:00 場所：仙台市戦災復興記念館

主催：全国建設青年会議、東北建設業青年会、三方良しの公共事業推進研究会 後援：国土交通省東北地方整備局

東日本太平洋沿岸を襲った大きな揺れと津波は、街を破壊し多くの尊い人命を奪い去った。大自然の脅威をまざまざと見せつけられ、改めて人と人との繋がり、共有する場(街)の重要性を認識したわれわれは、復興をいかに進めていくかが問われています。厳しい財政事情の中、住民の安全と安心を守るという重責を担う建設業の役割はますます重要になっています。一方で、山積する現在の課題をいかに迅速に解決し、国民の安心・安全をまもっていくのが大きな課題となっています。2007年5月8日に採択された以下の「三方良しの公共改革宣言」が今こそ、試されているといえます。

## 三方良しの公共事業改革宣言

我々は、公共事業を通じて国民の安心と国土の安全を守り、より良い社会を築くことに貢献するという重責を、改めて強く心に刻む。発注者と施工者が、社会に最大の利益をもたらすために、「良いもの」を「より早く」提供することを目指して、一致協力し、全力を挙げて公共事業に取り組む。これによって、住民、発注者、施工者の三方に利益をもたらす、ひいては財政の健全化にも貢献する。我々は、この「三方良しの公共事業」を力強く推進していくことを、ここに宣言する。

平成19年5月8日「三方良しの公共事業改革」フォーラム

全国で示されるさまざまな事例は、災害復旧、災害対策にこそ、住民良し、企業良し、行政良しの三方良しの精神がいかに大切であり、素晴らしい成果をもたらすものを示しています。今年のテーマは、「国難を乗り越え、国民の安心・安全を守る三方良し」と題して、各地で活動されている事例紹介と、座談会では、市民、大学、研究機関、行政、建設業など幅広い方々に参加いただき、「三方良しの公共事業」のあるべき姿を議論します。

## プログラム案 (13:30～17:00)

13:30～13:35	主催者挨拶	全国建設青年会議 会長 小野貴史氏
13:35～13:50	来賓挨拶	国土交通省 技監 佐藤直良氏
13:50～14:30	基調講演	国土交通省 東北地方整備局 企画部長 川嶋直樹氏
14:30～14:50	事例報告	福島県土木部道路計画課 副課長 磯松教彦氏
14:50～15:10	事例報告	株式会社 深松組 代表取締役社長 深松 努氏
15:10～15:25	休憩	
15:25～17:00	座談会	テーマ「大震災の教訓と課題を生かし国難を乗り越える三方良しの公共事業」(仮称) ・ゴールドラットコンサルティング ディレクター 岸良裕司氏 ・東北工業大学 工学部都市マネジメント学科教授 今西 肇氏 ・をんな川会議 代表幹事 小田美恵子氏 ・国土交通省 東北地方整備局 企画部長 川嶋直樹氏 ・東北建設業青年会 深松 努氏
17:00～17:30	ホールにて名刺交換会	

入場無料  
定員270名  
事前申し込みが必要です。

講演者は都合により変更になる場合があります

## 開催要項

日時：2012年2月28日(火)13:30～17:00

会場：**仙台市 戦災復興記念館**

仙台市青葉区大町二丁目12番1号  
電話(022)263-6931



参加費：無料

定員：先着270名

主催：全国建設青年会議、東北建設業青年会  
三方良しの公共事業推進研究会

